

スマート・コミュニティ・プロジェクト

- “シリ丹バレー” 構想の推進 -

1 事業目的

人口減少、少子高齢化により、過疎地域等では地域集落を支える人材が不足し、里山や農地、公共施設等の維持管理、伝統行事の継続などが困難となるなど、地域集落運営の維持が大きな課題となっている。

そこで、人口減少下においても暮らしやすい、持続可能な地域集落運営の実現に向け、スマート技術の導入について研究を行う。

2 事業内容(令和4年度～)

地域集落の様々な課題を認識し、各分野における新たなデジタル技術・デジタルサービスについて理解を深めるとともに、各所に存在するデジタルデータの有効活用に向けた「データ連携基盤」や、地域住民のサービス利便性向上に向けた「地域アプリ」の導入のあり方等について、研究を進める。

<地域課題の解決に向けたスマート技術活用の分野例>

- 移動支援
- 集落運営支援
- 地域電子通貨・地域コミュニティポイント
- シェアリングエコノミー
- 医療の高度化
- 観光・文化
- 高齢者の見守り
- 行政サービス など